

8. 各施設の現状と今後

【現状】

【施設更新後】

大久保公民館
・市民会館

民間施設

大久保公民館・市民会館は、民間事業者に土地を貸し付けて、民間事業者による事業が行われます（**定期借地権**。期間後は市に返却）。

大久保図書館

北館
《別棟》

大久保図書館は建物を**リノベーション**（全面的なリニューアル）して北館《別棟》となり、民間のテナントなどが入ります。

駐車場になっ
ている場所

北館《公民館
・図書館棟》

現在大久保公民館・市民会館の南側の駐車場となっている場所に、公民館、図書館、ホールが入る建物を**新築**します。

勤労会館

南館

勤労会館は建物を**リノベーション**して、南館になります。こども活動支援やスポーツ活動支援が行われます。



効果的な財政支出（経費の削減）

サービスの充実

実現に向けて

PFI事業として実施。

◆PFIとは、プライベート・ファイナンス・イニシアティブの頭文字。
公共施設の整備や運営に民間のノウハウを取り入れること。

- 施設の整備と維持管理運営の一括発注
- 性能発注による民間の創意工夫の発揮
- エリア全体の一体的な運営

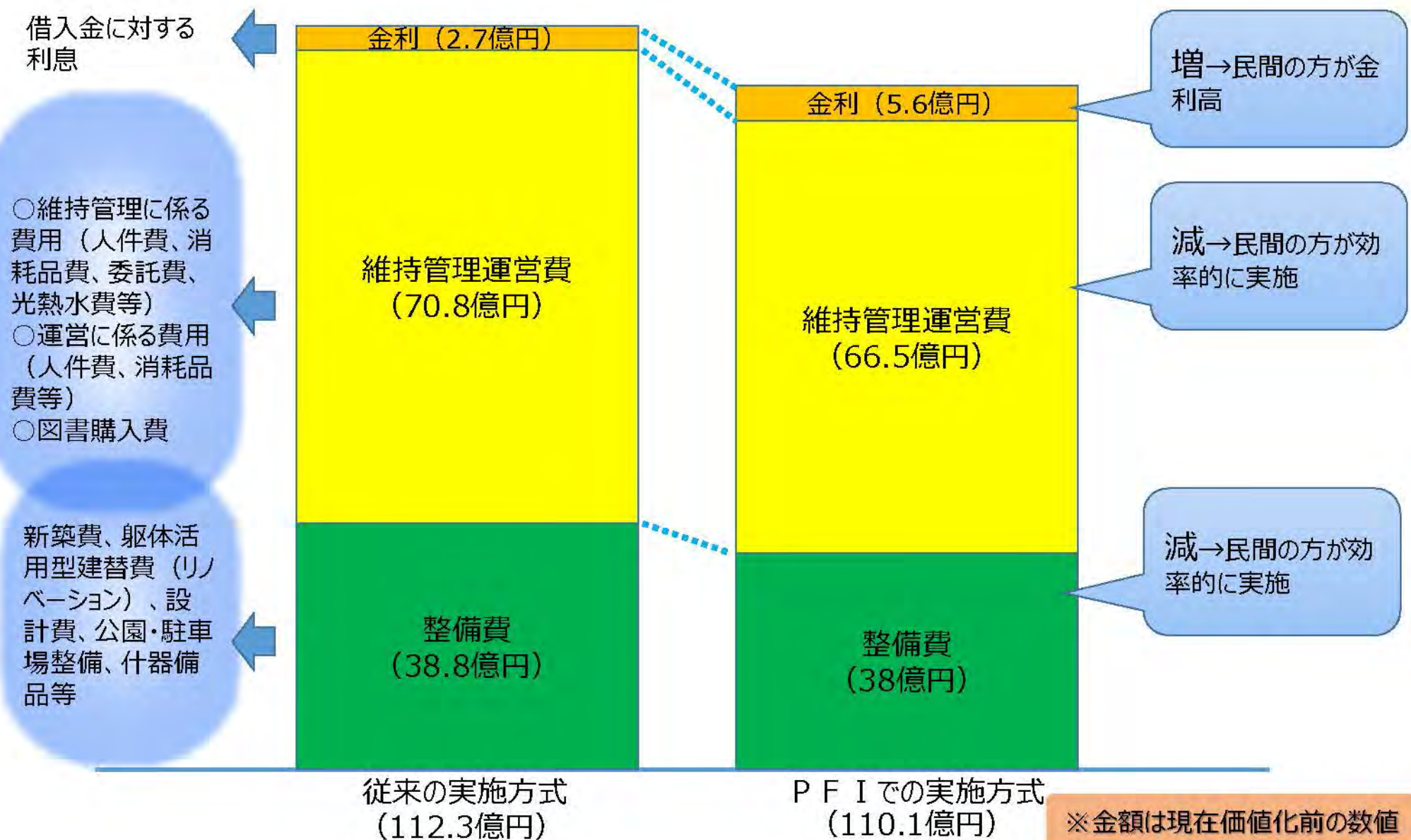
習志野市初

民間活力の一手法。これまでも指定管理者等で実施済。

市が実施する場合と比較して、
4.4%
(約3億7千万円)
削減

- 公民館の開館日の拡大（月曜、祝日も開館）
- 図書館、公民館の開館時間の拡大（朝または夜も）
- 図書館の蔵書数の増加。閲覧スペースの拡大。
- こどもが楽しく遊ぶプレイパークなど新たな事業の実施
- 市民の利便性を高める事業の実施（例 カフェなど）

10. VFMの積算概要（現在価値化前）



結果

「VFMがある」

効果的な財政支出

サービスの充実

4.4% (3.7億円)

82.8億円
(市の財政負担額の計)
※前頁支出－収入

79.1億円
(市の財政負担額の計)
※前頁支出－収入

金額は現在価値への換算後の数値

- 開館日の拡大
- 開館時間の拡大
- 図書館の蔵書数の増加・閲覧スペースの拡大
- こどもが楽しく遊ぶプレイパークなど新たな事業の実施
- 市民の利便性を高める事業の実施

など

従来の実施方式

P F I での実施方式

※ 現在価値化とは・・・

現在と将来の価値が異なるという考え方にに基づき、将来の金額を現在の価値に換算するもの。

今回の場合、1年間の割引率を2.094%と設定。現在の1000円は1年後に2.094%を加えて1021円の価値を持つ。逆に、1年後の1000円は、現在の金額に換算すると、1000円を2.094%で割り返して979円になる。つまり、現在の979円と1年後の1000円は同じ価値ということになる。同様の計算をすると、24年目の1000円の現在価値は621円となる。